

■佐々木惣一 憲法学者。東の美濃部達吉と並ぶ<大正デモクラシー>の指導的な論客で、"大学自治"を守る先頭に。

ささきそういち
大久保暗殺・1878 = 鳥取に生まれる。

明治14年政変1881 = 3歳：

国民之友始・1887 = 9歳：

帝国憲法発布1889 = 11歳：

日清戦争始・1894 = 16歳：

白馬会・・・1896 = 18歳：

四高を経て、

日比谷公園・1903 = 25歳：_京都帝大法科大学卒。ただちに講師となり、

日露戦争終・1905 = 27歳：

満鉄発足・・・1906 = 28歳：助教授。

伊藤博文暗殺1909 = 31歳：_欧州に留学し、

_吉野作造と親友になって、

明治天皇没・1912 = 34歳：

大正政変・・・1913 = 35歳：

_帰国，
*「行政学担当教授。京大総長沢柳政太郎が7名の教授を退職させた<沢柳事件>に際しては、総長糾弾の先頭に立ち、教官人事に関する教授会自治の慣行を文部大臣奥田義人に公認させた。

第一次大戦始1914 = 36歳：

本格政党内閣1918 = 40歳：_吉野作造ともに{黎明会}に参加して、大正デモクラシーの有力な論客となり、「立憲非立憲」、

大暴落・・・1920 = 42歳：*「普通選挙」を刊行したほか、{大阪朝日新聞}{中央公論}{改造}などにおいて立憲主義擁護の論陣を張るとともに、この年に起きた<森戸事件>の特別弁護人となる。

原敬首相暗殺1921 = 43歳：

水平社結成・1922 = 44歳：「日本行政法論」(総論および各論)、

関東大震災・1923 = 45歳：

金融恐慌・・・1927 = 49歳：

_憲法学を兼担。憲法学者としては国家法人説を唱え、東の美濃部達吉と併称されたが、法実証主義・客観的論理主義に徹し、立憲主義と国体観との調整につとめ、

世界恐慌・・・1929 = 51歳：_公法研究会を創立して主宰者となる。

満州事変・・・1931 = 53歳：

五一五事件・1932 = 54歳：

国際連盟脱退1933 = 55歳：「日本憲法要論」。*教授会自治の慣行を文相鳩山一郎が破って滝川幸辰を休職処分にした<滝川事件>では、法学部教授団の抗議運動の支柱となり、5教授とともに辞職。彼の名は"大学自治"とともに不朽となる。

帝人疑獄事件1934 = 56歳：立命館大学学長に迎えられたが、

芥川直木賞始1935 = 57歳：*「公法研究会から{公法雑誌}を創刊。以後、その編集に専念する。

二二六事件・1936 = 58歳：辞任。

日中戦争始・1937 = 59歳：

第二次大戦始1939 = 61歳：帝国学士院会員に選ばれた。

日米開戦・・・1941 = 63歳：

創価学会検挙1943 = 65歳：「我が国憲法の独自性」。

敗戦・・・1945 = 67歳：

_敗戦直後、内大臣府御用掛となり、近衛文麿とともに憲法改正案起草にあたったが、GHQの意向で内大臣府は廃止され、天皇に奉答された佐々木草案は公表されなかった。

新憲法公布・1946 = 68歳：貴族院議員に勅選され、憲法審議に参加して改正案に反対するが、新憲法の正統性は認めて、

三大事件・・・1949 = 71歳：「日本国憲法論」を執筆。

朝鮮戦争始・1950 = 72歳：

独立回復・・・1951 = 73歳：

メデー事件・1952 = 74歳：_文化勲章を受け、

TV放送始・・・1953 = 75歳：最初の京都市名誉市民に推された。

美智子妃・・・1959 = 81歳：

大学紛争始・1965 = 87歳：京都市下鴨泉川町の自宅で、_没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、